



樫邑まらまらだより



「Challenge (チャレンジ) !」
「Colorful is wonderful (カラフル イズ ワンダフル) !」

〒 ←

<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/kashimura-es/>

真庭市立樫邑小学校
第40号

令和8年2月19日
校長 山本 信子 発行

今日は「雨水」

二十四節気の一つ「雨水」を迎えました。10日前の大寒波が遠い過去に感じられるくらい、日中はばかばか陽気の日も増えてきました。道端にはよもぎの芽が顔を出し、春の訪れを今か今かと待っているようです。先日、永田様がねこやなぎを届けてくださいました。春がやってくるなあと改めて感じました。ご来校の際には、ご覧ください。

まだ寒い日もあると思いますが、健康に留意して今年度のまとめを元気に行いたいと思います。



しじり体験学習 ～ 令和8年2月10日 5・6校時 ～

今年度も恒例の「しじり体験」をさせていただきました。天候の関係で、昨年度に続き今年度も樫西和紙工場の隣にある「みつまた加工施設」でさせていただきました。

始めに、山崎さんから「しじり」のお話や作業のしかたについて教えていただき、早速体験をしました。山崎さんが事前に蒸してくださっていた三椏の皮を剥ぐ作業では、友だちと力を合わせておいたり、かけ声をかけて息を合わせたりして、するりするりとあっという間に剥いていました。するりと皮が剥がれる瞬間は、何とも言えない心地よさです。体験するからこそ味わえる感覚です。続いて皮の表面の茶色い薄皮を専用の道具を使って剥がしました。毎年経験している子どもたちは慣れた手つきで、次々としじり、初めての子どもたちも辛抱強く続け、とても上手になりました。教えてくださった山崎さんが感心されるほど、子どもたちは黙々と集中して作業に取り組みました。その姿は、まさにしじり職人のよう。「筋がええなあ。後継ぎとしてほしい。」とつぶやかれるほどです。

珍しいしじり体験学習には、毎年、取材に来てくださっています。今回の様子が、当日の夕方にNHKで放映され、ご覧になった方から「樫邑小のニュース見たよ」と早速連絡をいただきました。関心を寄せてくださっていることがとても嬉しいです。山陽新聞朝刊や津山朝日新聞夕刊にも掲載されました。職員室横の廊下に掲示しています。ご来校の際には、ぜひご覧ください。

地域の伝統文化にふれ、樫邑地域の良さを実感できる「しじり体験」。今後も続けていきたいです。ご指導ありがとうございました。今月16日には1回目の紙漉き体験をしました。26日には、2回目の紙漉き体験を行います。2回目の紙漉き体験の日、6年生は卒業証書を漉きます。



明日 2月20日(金)は、今年度最後の参観日です。お忙しいと思いますが、ぜひお越しください。

13:30~14:55 「がんばったこと発表会」(多目的ホール) 15:00 児童一斉下校

15:05~15:35 学級懇談(各教室)

15:45~16:15 PTA三役・評議員合同会議 多目的ホール



一人一人の個性あふれる発表は大変見ごたえがあります。一人一人がきらきら輝く姿、仲間と共にきらきら輝く姿を楽しみにお越しください。

朝のトークタイム 毎週水曜日 8時20分~8時35分

2月18日のテーマは、欣平さんが提案してくれました。対話カードの中から『これってワガママ?』を選び、テーマとしました。「これ」の内容は欣平さんが説明してくれました。「お腹がすいていないから晩ご飯を食べるのめんどくさいというのはワガママ?」シンキングタイムで一人一人が考え、わがまま・わがままではないに分かれて対話をしました。ミーティングタイムでは、少人数で対話をしたいと考えていた欣平さん。わがままではないと思う人のグループ、どちらかというどわがままと思うグループ、どちらの場合もあると思うグループの3つに分かれて、対話をしました。一部紹介します。

【わがままではない】

食べたい時に食べた方が食べられる。お腹がすいていない時は食べない。家族で食べる時は(お腹がすいていなくても)食べる。

【どちらかというどわがまま】

自分の分も作ってもらっている。自分のせいで後でお腹がすく。夜にお腹がすいても自業自得。もう1回温めたら電気のおだ。他の人も困る。作ってくれた人もちょっと嫌な気持ちになる。ゲームしたい気持ちもわかる。

【どちらの場合もある】

場合によってはわがままになる。自分で片付けをするならいい。お腹がすいていないなら食べなくてもいいと思う。みんなで食べる良さ(出来事をおしゃべり)もある。ちょっとだけでも食べるといいかも。家族に片付けをしてもらうなら食べる方が良くと思う。ご飯の時間がばらばらになりすぎると生活リズムがくずれる心配もあるかも。

自分の考えもはっきり持っていた欣平さん。今回のトークタイムをふり返って「どちらの意見も持っている人が多いんだなと思った」と話してくれました。素晴らしい気づきに感心しました。たった15分、されど15分。自分と違う考えに子どもも大人も気づかされることが多い時間です。次回テーマ提案者は桃渚さん。どんなテーマかな。楽しみです。

